

# 令和8年度～令和12年度 五戸町社会教育計画



五戸町図書館

GONOHE  
五戸町教育委員会



# 五戸町民憲章

(前章)

私たちは、美しく豊かな風土に恵まれ、あつい人情と平和の光みなぎる五戸町の町民です。

古い歴史とすぐれた伝統をだいにしながら、新しい時代の息吹きに応じて、たくましく躍進する五戸町の町民であることに誇りを持ち、より明るく、住みよい町づくりをすすめるために、全町民の願いをこめて、この町民憲章を定めます。

- 1 私たちは、郷土を愛し清潔で美しい町をつくります。
- 2 私たちは、心と体をきたえ健康で明るい町をつくります。
- 3 私たちは、善意をひろめ人情あつく温かい町をつくります。
- 4 私たちは、生きがいを持ち豊かで活力のある町をつくります。
- 5 私たちは、伝統を重んじ教育と文化のかおる町をつくります。

— 昭和59年 8月30日制定 —



町の木「オンコ(イチイ)」  
(昭和 50 年 7 月 1 日制定)



町の木「赤松」  
(平成 16 年 7 月 1 日制定)



町の花「キク」  
(昭和 50 年 7 月 1 日制定)



町の鳥「白鳥」  
(平成 16 年 7 月 1 日制定)

# 五戸町の教育

## 《五戸町教育の基本理念》

子どもの夢と志を育む教育のまちづくり

## 《五戸町教育目標》

ふるさとを愛し、時代の変化を受けとめ、未来を力強く切り拓いていく人づくり

1. 豊かな心を持ち、知性と創造力を生かし、誇りと生きがいを持って、社会の発展に貢献できる町民の育成に努めます。
2. 学校・家庭・地域社会がそれぞれの責任を果たし、一体となって活力あふれた生涯学習社会の進展に努めます。
3. 町民としての連帯意識と愛郷精神の高揚を図り、まちづくりの理想である町民憲章の具現化に努めます。
4. 自分の体力と健康に関心を持ち、スポーツを楽しみながら、安全な生活を営むことのできる町民の育成に努めます。

## 《五戸町教育施策の方針》

五戸町教育委員会は、郷土に誇りを持ち、多様性を尊重し、創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓く人づくりを目指します。

このため

- 夢や志の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育
- 学びを生かし、生きがいとつながりをつくり出す社会教育
- 次代へ伝える、かけがえのない文化財の保存・活用
- 活力、健康、感動を生み出すスポーツ

を、青森県教育委員会及び三八教育事務所、家庭や地域社会との連携を図りながら推進します。

# 五戸町の概要

## 1. 位 置

五戸町は青森県の南東部に位置し、八戸市から西に約15.5km、十和田市から南東に約12.5kmの距離にあります。東は八戸市、西は新郷村、南は南部町、北は十和田市・六戸町・おいらせ町とそれぞれ接し、東西に約20.7km、南北に約18.6kmのほぼ楕円形の形状を成し総面積177.67km<sup>2</sup>を有しています。

## 2. 気 候

五戸町は北東北に位置しながらも、年間を通して寒暖の差が比較的小さく、積雪が少ないなど穏やかな気候に恵まれています。気象の最も大きな特徴は、5・6月頃を中心に「ヤマセ」と呼ばれる冷湿な北東風が吹くことであり、このヤマセはしばしば低温・長雨を伴い、農作物に悪影響を及ぼすことがあります。

## 3. 地 勢

戸来岳に水源を發し太平洋に注ぐ五戸川と、新郷村温泉沢に水源を發し馬淵川に注ぐ浅水川の2本の川が、ほぼ平行して町を貫流しており、この2つの川を挟んで集落が形成されています。平坦部は水利を得て水田が開け、奥羽山脈の東に發達した穏やかな丘陵地帯は畑や果樹園などに利用されています。

## 4. 歴 史

明治22年4月、町村制施行により五戸村となり、大正4年11月、町制を施行して五戸町となりました。昭和30年7月、五戸町・川内村・浅田村が合併、その後、野沢村手倉橋、豊崎村豊間内の一部地域を編入しました。平成16年7月、五戸町と倉石村が合併して現在に至っています。

## 5. 人 口

昭和55年以降減少傾向にあり、令和8年1月1日現在14,977人となっています。その要因として、厳しい経済状況の中就労機会の減少に伴う若年層の地域外流出による少子化が進んでいると思われます。

## 6. 教育・文化的環境

### ◆学校等

種 別	数
幼稚園・認定保育園	7
小 学 校	4
中 学 校	3
専 門 学 校	1

### ◆社会教育施設

名 称
五戸町立公民館
五戸町図書館
ごのへ郷土館

### ◆スポーツ施設

名 称
ひばり野公園
ひばり野スポーツ交流センター
屋内トレーニングセンター
倉石スポーツセンター
小渡平公園

◇町立全小中学校の体育施設が、地域のスポーツの拠点として開放されている。

◇小渡平公園はグラウンド・ゴルフ公認コースとして認定されている。

◇現在、学校再編が進められており、令和9年度には町内の小学校が3校体制となり、令和11年度には中学校が1校体制となる予定である。

# 目 次

はじめに

社会教育計画策定にあたって・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

1. 計画策定の目的

2. 計画の位置付け

3. 計画の期間

4. 計画の運用

5. 計画の体系図

五戸町社会教育計画の全体構造図・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

五戸町社会教育の方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

重点1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

重点2・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

重点3・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

重点4・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

重点5・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

重点6・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

## はじめに

近年、異常気象による自然災害の増加や情報通信技術、AIの急速な進展など、変化の激しい時代になってきています。子どもたちの将来に関わる職業や働き方についても、テレワークやリモートワークといった新たな働き方の広がり、副業やフリーランス、転職者の増加で人材の流動性も高まるなど、これまでとは大きく様相が変わりつつあります。

このような社会情勢の中ではありますが、五戸町は、町民一人一人がそれぞれの役割を理解し、一丸となって住み続けたいと思えるまちづくりを行うための指針として、第3次五戸町総合振興計画を策定しました。

これを踏まえ、五戸町教育委員会では、「一人一人が生きがいとつながりを感じる豊かで住みよい地域社会づくり」「いつでも、どこでも、だれでも、なんでも学ぶ『生涯学習社会』の実現」を目標とした「五戸町社会教育計画」を策定いたしました。この計画は、令和8年度から令和12年度までの5年間を見通した今後の五戸町社会教育の骨格をなすものであり、各種施策・事業の方向性を示しています。

先の見通せない世の中になってきている感はありますが、いつの時代にも不易の部分はあるものです。本計画をもとに教育と文化のかおるまちづくりに、町民の皆様とともに歩んでまいりたいと思います。

結びになりますが、貴重なご提言・ご意見をいただいた社会教育委員の皆様、調査にご協力いただいた町民の皆様や関係各位に対しまして、心より感謝を申し上げます。

令和8年3月

五戸町教育委員会

教育長 澤 田 尚

# 社会教育計画策定にあたって

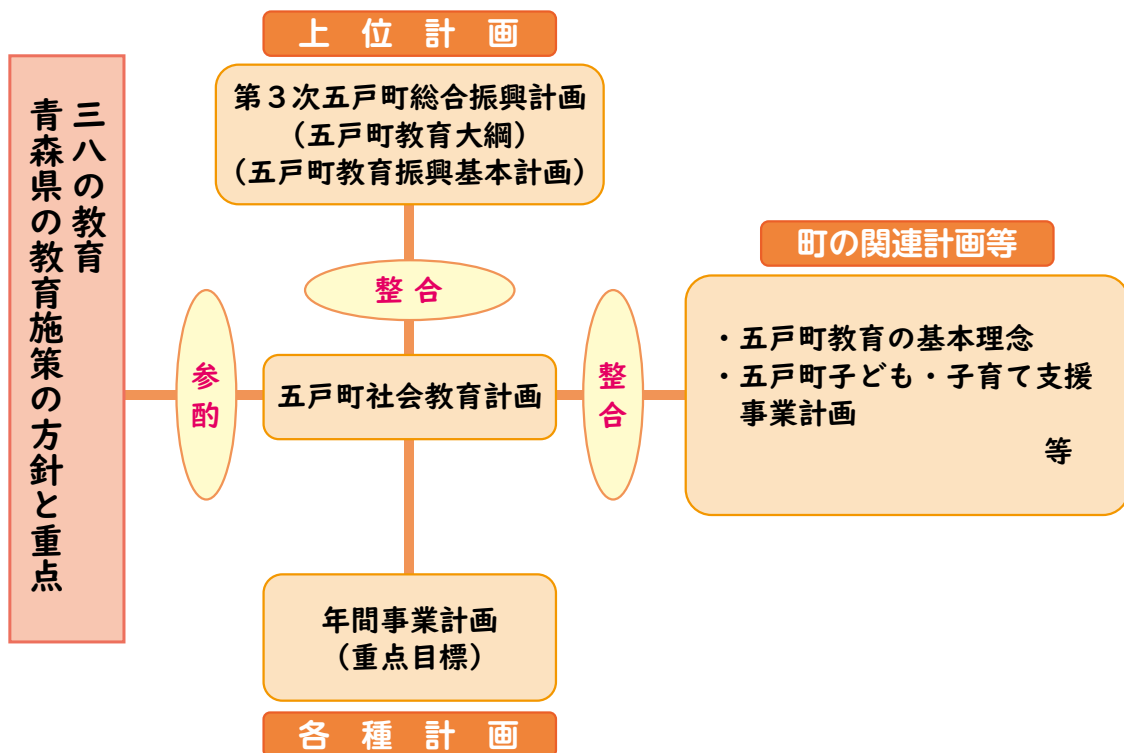
## 1. 計画策定の目的

五戸町教育委員会(以下「教育委員会」という。)では、第3次五戸町総合振興計画に基づき「五戸の未来を創造する人と文化を育むまち」を目指すため、令和3年度から令和7年度までの五戸町社会教育計画を策定し、地域間や世代間の集い・学び・活動を通じて住民同士の交流につなげる生涯学習活動やスポーツ活動のほか、地域行事や歴史、文化財等に係る郷土文化の保存・継承に向けた活動に取り組んできました。

令和7年度で計画期間の満了に伴い、教育委員会では町民一人一人がウェルビーイング<sup>※1</sup>向上を実現して生きがいのある充実した生活を送るとともに、豊かで住みよい地域社会を形成することができるよう、学びを生かしつながりをつくり出す社会教育の推進に努めるため、令和8年度から新たな社会教育計画(以下「本計画」という。)を策定します。

## 2. 計画の位置付け

本計画は、町の上位計画や関連計画等との整合を図るとともに青森県の教育施策の方針と重点等についても参酌して策定します。



※1 身体的、精神的、社会的に良好な状態にあること。

### 3. 計画の期間

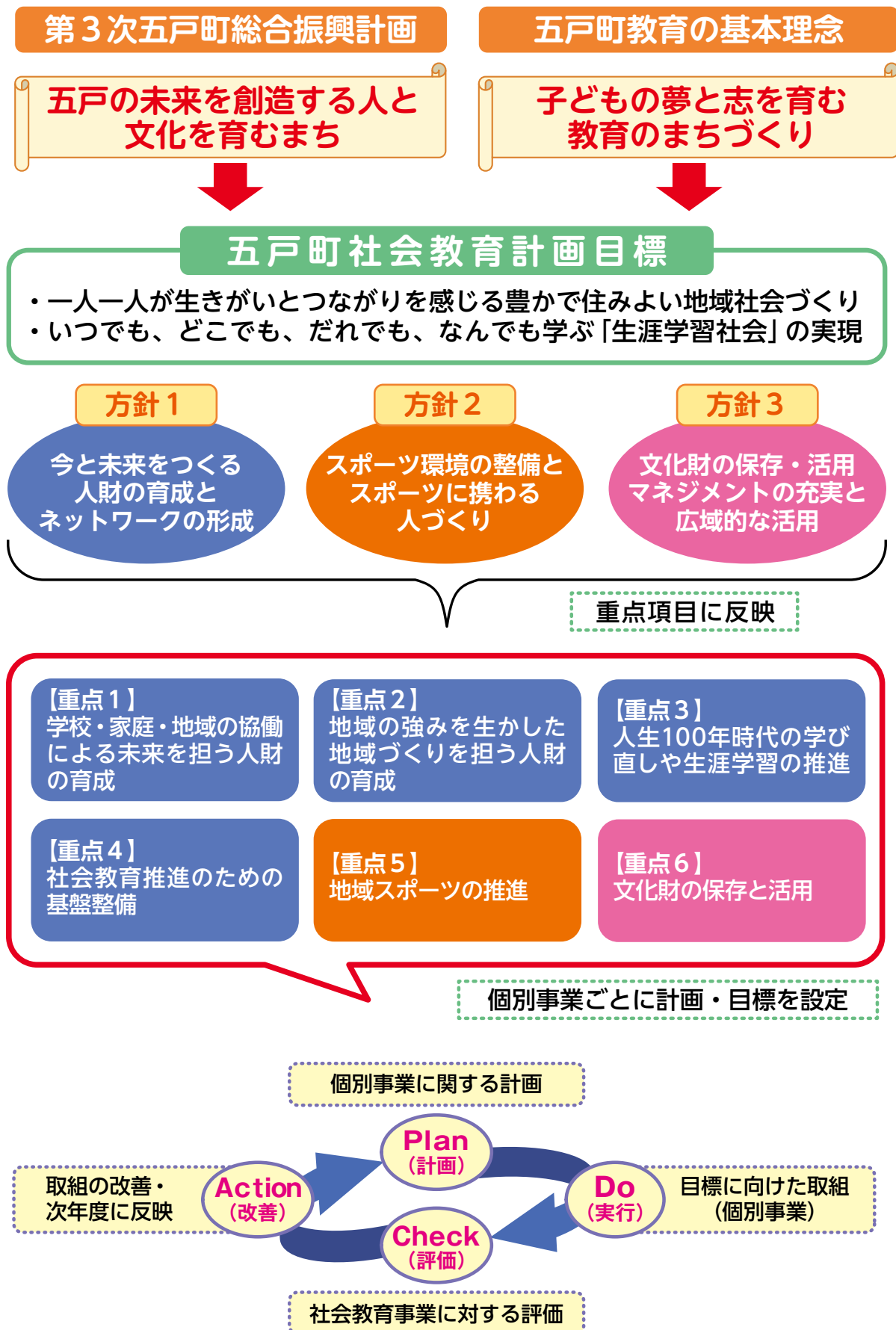
計画期間は、令和8年度から令和12年度までの5年間とします。

年度(令和)	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
各種計画											
第3次五戸町総合振興計画 (五戸町教育大綱) (五戸町教育振興基本計画)											
五戸町社会教育計画											

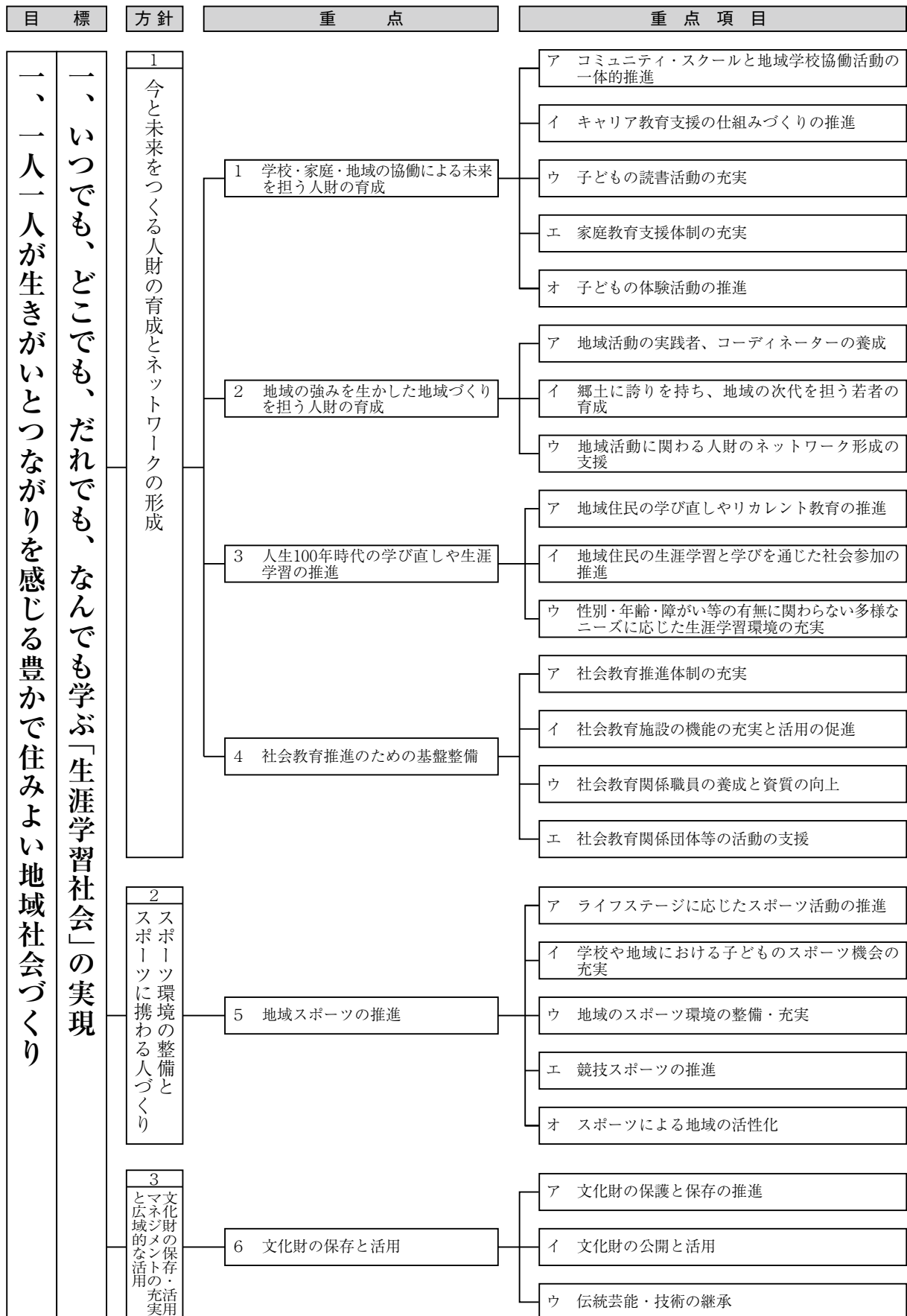
### 4. 計画の運用

本計画は、計画期間内の各年度末に個別事業の実施状況等の評価を行い、次年度の事業計画に反映させながら運用します。また、社会の変化に対応しながら、必要に応じて見直し、修正しながら運用します。

## 5. 計画の体系図



# 五戸町社会教育計画の全体構造図



# 五戸町社会教育の方針

## 1. 今と未来をつくる人財<sup>\*2</sup>の育成とネットワークの形成

豊かで住みよい地域社会を実現するためには、地域活動のコーディネーター養成や地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援を通じて、五戸町の今をつくる人財を育成するとともに、地域学校協働活動の推進や家庭教育支援体制の構築など、地域全体で子どもを育む活動の充実を図ることによる五戸町の未来をつくる人財の育成が求められます。

五戸町では、社会教育施設及び関連施設を活用し、地域住民の学習意欲を高める学習機会を積極的に提供するとともに、つながりを築く学習・体験プログラムの工夫や仕組みづくりを通して学校教育と社会教育が融合した取組に努めています。

今後は、研修会や講座などへの参加の奨励、各種事業等への積極的なボランティアの活用、地域リーダーを有機的に活用するためのネットワークの形成と活動機会の意図的な設定に努めます。

また、子どもの生き方を支える学習や活動を推進したり、地域資源を効果的に活用したりして、学校・家庭・地域の連携・協働による教育活動を充実させ、地域の強みを生かした地域づくりの推進に努めます。

## 2. スポーツ環境の整備とスポーツに携わる人づくり

誰もが生涯にわたってスポーツに親しみ、生きがいを感じる豊かなスポーツライフを実現するため、町民のニーズ、年齢や興味・関心などに応じた多様なスポーツの機会を提供することが必要です。

また、定期的、継続的にスポーツ活動を行うことができる活動拠点の整備、個々のスポーツニーズに対応するためのスポーツリーダーの養成やその確保及び活用など、スポーツに親しむ環境づくりの充実を図り、地域スポーツの推進に努めます。

五戸町では、町民のニーズに対応した多様なスポーツの機会の提供、地域に根ざしたスポーツサークル・団体の育成に努めています。

今後は、地域住民の連帯意識の高揚や世代間交流の活性化につながるように、各スポーツクラブ、団体や各種大会の運営を地域住民と協働で進める体制づくりに努めます。

## 3. 文化財の保存・活用マネジメントの充実と広域的な活用

郷土に対する愛着や誇りを培い、うるおいと活力のある生活を実現するためには、町民が文化財に興味・関心をもち、親しめるよう、文化財に関する学びの機会を提供するとともに、人と地域を結ぶ文化財の保存・活用マネジメントが必要です。また、町民の文化財に対する保存意欲を高め、文化財活用をより広域的、魅力的にするなどの工夫が求められています。

五戸町では、文化財の調査・研究活動を進めるとともに、その成果に関する講座や体験活動、文化財パトロール、ボランティアガイドの活用、各種助成金や継承事業などを通して、地域の貴重な遺跡や歴史資料、伝統芸能・技術の保存や活用に取り組んでいます。

今後は、文化財に関する学びの機会の充実を図るとともに情報発信を行い、文化財の整備・管理、文化財保護思想の普及・啓発などの保存・活用マネジメントの充実に努め、地域の魅力を住民レベルで継承し創出することによって、各地域の伝統芸能・技術の保存活動や後継者育成の充実に努めます。

※2 人を「財(たから)」として大切にするという考え方を込めた表現とする。

## 重点 1 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成

五戸町では、学校を人づくり・地域づくりの拠点と位置付け、学校と地域が協力して子どもを育む地域学校協働活動を積極的に進めています。また、放課後子ども教室を実施し、放課後の子どもたちの安全な居場所づくりと、地域住民の力を借りた多様な体験・学習機会の提供に努めています。

今後は、子どもたちの成長をより効果的に支援する体制を構築するため、コミュニティ・スクール<sup>※3</sup>と地域学校協働活動を一体的に推進する事業に取り組みます。また、家庭教育支援を推進するため、関係機関や団体と連携・協働し、保護者の学習機会や相談体制の充実を図ります。

### 重点項目 ア コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

- ①地域住民等と学校との連携協力体制の整備
- ②学校と地域の教育資源等についての情報交流
- ③地域住民と子どもをつなぐ実践の場の工夫
- ④子どもの健全な育成に向けての住民の意識や目的の共有化を図る工夫

### イ キャリア教育支援の仕組みづくりの推進

- ①「ナナメ」の関係<sup>※4</sup>づくりを意識した学習機会の推進
- ②ふるさと意識を醸成する場の拡充
- ③高等学校・大学等との連携を軸とするキャリア教育の推進

### ウ 子どもの読書活動の充実

- ①読み聞かせボランティアグループの育成と支援
- ②読書活動推進のための啓発と情報提供
- ③図書館相互の連携

### エ 家庭教育支援体制の充実

- ①子育てに関する学習の推進と相談体制づくり
- ②子どもの発達段階に応じた学習内容の工夫
- ③保護者間のネットワークの構築

### オ 子どもの体験活動の推進

- ①多様な生活体験・自然体験・奉仕体験・社会体験活動を積極的に取り入れた学習機会の提供
- ②異世代・異年齢交流事業の推進

※3 学校運営協議会を設置している学校のこと。

保護者や地域住民等が知恵を出し合い学校運営に意見を反映させることができる。

※4 親や教師などの「縦」の関係や友だち等の「横」の関係とは異なり、適度な距離感と安心感のある人間関係(部活動のOB・OG等)のこと。

## 重点 1

## 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成

重点項目	ア	観点	①	事業名	学校運営協議会事業				
事業の概要	地域とともにある学校づくりを目指すため、地域住民が学校運営・教育に関心を持ち、ともに課題解決に取り組むことで、地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりを支援する。								
事業の目標	単年	年次計画	8	9	10	11	12		
			○	○	○	○	○		
コミュニティ・スクールへの理解を深める研修会を開催する。									
評価指標	①開催数 ②参加人数								
重点項目	ア	観点	②	事業名	地域学校協働活動推進事業				
事業の概要	学校を核とした地域づくりを目指すため、地域と学校が連携・協力し、子どもたちの成長を見守る。								
事業の目標	単年	年次計画	8	9	10	11	12		
			○	○	○	○	○		
町内の地域学校協働活動推進員の情報交換会を年に2回開催する。									
評価指標	開催回数								
重点項目	ア	観点	③	事業名	放課後子ども教室推進事業				
事業の概要	放課後を利用し、子どもが心豊かで健やかに育むことを目的とし、地域住民の参画を得て、文化活動や体験活動に取り組む。								
事業の目標	単年	年次計画	8	9	10	11	12		
			○	○	○	○	○		
子どもの体験活動イベントを年に5回程度実施し、参加者延べ人数60名確保する。									
評価指標	①実施回数 ②参加者延べ人数								
重点項目	ア	観点	④	事業名	放課後子ども教室推進事業				
事業の概要	放課後を利用し、子どもが心豊かで健やかに育むことを目的とし、地域住民の参画を得て、文化活動や体験活動に取り組む。								
事業の目標	単年	年次計画	8	9	10	11	12		
			○	○	○	○	○		
放課後子ども総合プランにおいて目的や課題の共有を図ることを目的とした研修会を開催し、参加者を30名程度確保する。									
評価指標	参加人数								
重点項目	イ	観点	①	事業名	子ども会事業				
事業の概要	地域の子どもの活動を支える育成連合会の運営費を補助し、子どもたちの健全育成と地域コミュニティの活性化を図る。								
事業の目標	単年	年次計画	8	9	10	11	12		
			○	○	○	○	○		
異世代・異年齢交流や地域行事への参加を通じて子どもの社会性や自主性を育むため、五戸町子ども会育成連合会主催イベントを2回実施し、参加者延べ人数30名確保する。									
評価指標	①実施回数 ②参加者延べ人数								

## 重点 1

## 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成

重点項目	イ	観点	②	事業名	相撲大会事業				
事業の概要	伝統的な行事である相撲大会を通じて、子どもたちに郷土への誇りや愛着心を育むとともに、地域行事の参加意識を高める。								
事業の目標	単年	年次計画	8	9	10	11	12		
			○	○	○	○	○		
学校の協力を仰ぎ、参加人数を40名確保する。									
評価指標	参加人数								
重点項目	イ	観点	③	事業名	中学生国際交流事業				
事業の概要	相互の教育・文化の見聞や交流を通じて関心と理解を深め、国際的視野を広めるとともに、コミュニケーション能力を高め、グローバル社会で活躍できる人材育成の礎をつくる。								
事業の目標	単年	年次計画	8	9	10	11	12		
			○	○	○	○	○		
交流事業を通じて、異文化に関心を持ち「将来への展望の参考とする」と回答した生徒数が80%以上であることを目標とする。									
評価指標	アンケート割合数								
重点項目	イ	観点	③	事業名	ごのへ夢・立志塾				
事業の概要	医学に興味を持つ人材の育成を目指し、医学の背景にある壮大で崇高な「志の大切さ」に触れることを目的とする。								
事業の目標	単年	年次計画	8	9	10	11	12		
			○	○	○	○	○		
医療及び科学分野に興味・関心を持つ町内中学生に対し、質の高い学習プログラム(講演会や派遣講座)を提供する。									
評価指標	①講演会実施数 ②派遣講座参加の有無								
重点項目	ウ	観点	①	事業名	おはなし会事業				
事業の概要	子どもの読書意欲の喚起と読書週間の定着を図るためにも、読み手の活動機会を創出し、おはなし会事業を実施する。								
事業の目標	単年	年次計画	8	9	10	11	12		
			○	○	○	○	○		
読み手の活動機会を創出し、参加読み手延べ人数20名程度確保する。									
評価指標	①実施回数 ②読み手の延べ人数								
重点項目	ウ	観点	②	事業名	移動図書館事業				
事業の概要	図書館への来館が難しい方々に対し、読書活動推進を図るため、移動図書館事業を実施する。								
事業の目標	単年	年次計画	8	9	10	11	12		
			○	○	○	○	○		
読書活動を推進するため、年間11,000冊程度の借受冊数を目指す。									
評価指標	①実施回数 ②年間借受冊数								

## 重点 1

## 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成

重点項目	ウ	観点	③	事業名	図書館相互連携事業				
事業の概要	他館と連携し、子どもが興味を持った本を提供できるよう、図書館相互連携事業を実施する。								
事業の目標	単年		年次計画	8	9	10	11	12	
				○	○	○	○	○	
町外の図書館と連携を行い、子どもが希望する図書を提供し、年間15冊程度の借受児童書冊数を目指す。									
評価指標	年間借受児童書冊数								
重点項目	エ	観点	①②	事業名	家庭教育支援事業				
事業の概要	五戸町で活動している家庭教育支援チーム等と連携を図り、保護者が子どもの成長に応じた適切な関わりや家庭での教育的な役割を果たせるように講座等を開催して支援する。								
事業の目標	単年		年次計画	8	9	10	11	12	
				○	○	○	○	○	
家庭教育支援チーム等と連携し、子育て世代の参加を促進するため、講座内容や形式を工夫するとともに、参加しやすい時間帯・日程を設定し、受講環境を整備する。									
評価指標	①実施に係る打合せ回数 ②開催数 ③参加人数								
重点項目	エ	観点	③	事業名	家庭教育支援事業				
事業の概要	五戸町で活動している家庭教育支援チーム等と連携を図り、保護者が子どもの成長に応じた適切な関わりや家庭での教育的な役割を果たせるように講座等を開催して支援する。								
事業の目標	単年		年次計画	8	9	10	11	12	
				○	○	○	○	○	
家庭教育支援チーム等と連携し、イベント(地域食堂、おさがり会など)を開催する。									
評価指標	①開催数 ②参加人数								
重点項目	オ	観点	①	事業名	放課後子ども教室推進事業				
事業の概要	放課後を利用し、子どもが心豊かで健やかに育むことを目的とし、地域住民の参画を得て、文化活動や体験活動に取り組む。								
事業の目標	単年		年次計画	8	9	10	11	12	
				○	○	○	○	○	
外部団体との交流を踏まえた活動を年に5回程度実施する。									
評価指標	実施回数								
重点項目	オ	観点	②	事業名	子ども会事業				
事業の概要	地域の子どもの活動を支える育成連合会の運営費を補助し、子どもたちの健全育成と地域コミュニティの活性化を図る。								
事業の目標	単年		年次計画	8	9	10	11	12	
				○	○	○	○	○	
異世代・異年齢交流や地域行事への参加を通じて子どもの社会性や自主性を育むためのイベントを開催し、参加者延べ人数50名確保する。									
評価指標	①実施数 ②参加者延べ人数								

## 重点 2

## 地域の強みを生かした地域づくりを担う人財の育成

五戸町では、各種講座や研修会を通して、参加者の参画意識を高めるため、役割分担等を行い、企画・運営に参加させるなど地域活動に主体的に取り組む人材を育成することに取り組んでいます。

今後は、地域の強みを生かした地域づくりのため、地域活動に取り組む人財や地域の次代を担う若者の育成と人財相互のネットワークづくりの推進に努めます。

### 重点項目 ア 地域活動の実践者、コーディネーターの養成

- ①地域活動の指導者、コーディネーター養成のための研修会の開催
- ②地域活動の指導者、コーディネーターが活躍できる場の提供

### イ 郷土に誇りを持ち、地域の次代を担う若者の育成

- ①地域における次世代を育成する仕組みづくりの推進
- ②各種研修会の情報提供と参加の奨励
- ③地域の教育機関が連携した世代間交流事業の推進

### ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援

- ①地域活動に関わる人財同士が交流を深める場の提供
- ②サークル、団体、NPO形成への支援



## 重点 2

## 地域の強みを生かした地域づくりを担う人財の育成

重点項目	ウ	観点	①	事業名	放課後子ども教室推進事業				
事業の概要					放課後を利用し、子どもが心豊かで健やかに育むことを目的とし、地域住民の参画を得て、文化活動や体験活動に取り組む。				
事業の目標		単年	年次計画	8	9	10	11	12	
				○	○	○	○	○	
					福祉部局と連携し、総合的な放課後対策の推進を図るため、放課後子ども総合プラン運営委員会を開催し、子どもの取り巻く環境等について協議する場を設ける。				
評価指標					①開催回数 ②参加人数				
重点項目	ウ	観点	②	事業名	公民館講座				
事業の概要					町民が生涯を通して生きがいのある充実した生活を送ることができるように適切な学習機会を提供することを目的とする。				
事業の目標		単年	年次計画	8	9	10	11	12	
				○	○	○	○	○	
					公民館講座において受講者を獲得できた講座は、サークル立ち上げへつながるため、新規講座の開拓をする。				
評価指標					新規講座開設数				

## 重点 3

## 人生100年時代<sup>※5</sup>の学び直しや生涯学習の推進

五戸町では、町民大学講座や公民館講座等でライフステージに応じた多様な学習機会の提供や学習プログラムの工夫、学習者や愛好者などによる自主グループ・サークル活動の支援に取り組んでいます。

今後は、性別・年齢・障がい等の有無に関わらない多様なニーズに応じた学習機会を拡充するとともに、学んだことを地域社会で生かすための社会参加活動の支援に努めます。

### 重点項目 ア 地域住民の学び直しやリカレント教育<sup>※6</sup>の推進

- ①近隣の高等学校及び大学と連携した学習機会の提供

### イ 地域住民の生涯学習と学びを通じた社会参加の推進

- ①学びの機会の拡充と積極的な活用
- ②学習者や愛好者などによる自主グループ・サークル活動への支援
- ③学習ボランティア活動の普及・啓発
- ④広域的な情報収集とコーディネート機能の拡充

### ウ 性別・年齢・障がい等の有無に関わらない多様なニーズに応じた生涯学習環境の充実

- ①多様なニーズに応じた生涯学習環境の充実
- ②県民カレッジ事業との積極的な連携
- ③デジタル活用支援の推進

※5 平均寿命や健康寿命の延びにより、人が100年近く生きることが当たり前になる時代のこと。

※6 社会に出たあとも必要に応じて学び直すこと。

### 重点 3

## 人生100年時代の学び直しや生涯学習の推進

重点項目	ア	観点	①	事業名	五戸町民大学講座				
事業の概要	新しい知識や教養を身につけ、受講者同士の交流を深め、生きがいのある生活を送ることを目的とする。								
事業の目標	単年	年次計画	8	9	10	11	12		
			○	○	○	○	○		
年間受講者数を延べ330名程度確保する。									
評価指標	年間受講者延べ人数								
重点項目	イ	観点	①	事業名	公民館講座				
事業の概要	町民が生涯を通して生きがいのある充実した生活を送ることができるように適切な学習機会を提供することを目的とする。								
事業の目標	単年	年次計画	8	9	10	11	12		
			○	○	○	○	○		
学びの機会の充実を図るため、多様なニーズに応じた各種公民館講座を年間100回以上開催し、延べ800名の参加者を確保する。									
評価指標	①開催回数 ②参加者延べ人数								
重点項目	イ	観点	②	事業名	好きです！五戸町ボランティア運動事業				
事業の概要	町や自治会等の町内団体が主催する活動やイベント等における人手が欲しいニーズとボランティアに参加したいニーズをマッチングする。								
事業の目標	単年	年次計画	8	9	10	11	12		
			○	○	○	○	○		
様々な経験の機会や社会参加の場を提供するため、広報や町HPを活用し町内へ広く周知する。また、派遣申請件数及び派遣人数の増加を図る。									
評価指標	①派遣申請件数 ②派遣人数								
重点項目	イ	観点	③	事業名	ボランティアバンク事業				
事業の概要	地域住民の知識や技術をボランティアとして活用する。								
事業の目標	単年	年次計画	8	9	10	11	12		
			○	○	○	○	○		
ボランティアバンクの活用を促すため広報や町HPを活用し、利用しやすい環境を整備する。									
評価指標	①HPの作成 ②HPアクセス数								
重点項目	イ	観点	④	事業名	社会教育広報事業				
事業の概要	教育活動や各種イベント情報を発信し町民の理解・関心・参加を促進することを目的とする。								
事業の目標	単年	年次計画	8	9	10	11	12		
			○	○	○	○	○		
公式SNSを活用し、教育活動や各種イベント情報について各種メディアを活用し周知する。									
評価指標	①掲載回数 ②アクセス数								

### 重点 3

## 人生100年時代の学び直しや生涯学習の推進

重点項目	ウ	観点	①	事業名	五戸町民大学講座					
事業の概要	新しい知識や教養を身につけ、受講者同士の交流を深め、生きがいのある生活を送ることを目的とする。									
事業の目標	単年	年次計画	8	9	10	11	12			
			○	○	○	○	○			
		町民のニーズに即した講座をケーブルテレビで放映し、自宅でも講座を視聴できる環境を整備する。								
評価指標	放映回数									
重点項目	ウ	観点	②	事業名	五戸町民大学講座					
事業の概要	新しい知識や教養を身につけ、受講者同士の交流を深め、生きがいのある生活を送ることを目的とする。									
事業の目標	単年	年次計画	8	9	10	11	12			
			○	○	○	○	○			
		あおり県民カレッジと連携し、講座を開催する。								
評価指標	開催回数									
重点項目	ウ	観点	③	事業名	公民館講座					
事業の概要	町民が生涯を通して生きがいのある充実した生活を送ることができるように適切な学習機会を提供することを目的とする。									
事業の目標	単年	年次計画	8	9	10	11	12			
			○	○	○	○	○			
		デジタルデバイド <sup>*7</sup> を解消するため、IT教室やスマホ・タブレット教室などを講座に取り入れる。								
評価指標	デジタルスキル教室の開催数									

※7 インターネットやパソコン、スマートフォンなどを利用できる人とできない人との間に生じる、情報格差のこと。

## 重点 4 社会教育推進のための基盤整備

五戸町では、社会教育推進計画の見直し・改善を進めるとともに、広報誌、ホームページや各種メディアなどを活用しながら、幅広い学習情報の収集や提供に努めています。

今後は、町民の多様な学習ニーズに応えるため、社会教育関係職員の研修及び学習支援の相談体制の充実を図るとともに、社会教育施設等の広域的な連携を推進するための環境づくりを図ります。

### 重点項目 ア 社会教育推進体制の充実

- ①町の方針と重点等、諸計画に基づく事業の展開
- ②事業評価のための指標の工夫
- ③広域的な学習情報の収集・提供

### イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進

- ①利用者の視点に立った環境の工夫
- ②団体間における学習活動の交流促進
- ③住民の学習ニーズ把握のための調査方法の工夫

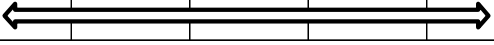
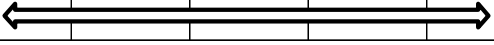
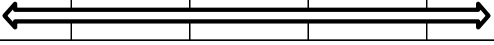
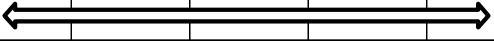
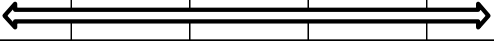
### ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上

- ①研修会への積極的な参加の奨励
- ②社会教育主事講習への計画的な派遣
- ③各市町村担当職員間の積極的な情報交換

### エ 社会教育関係団体等の活動の支援

- ①各種機関が主催する指導者養成講座の情報提供と参加の奨励
- ②研修及び学習支援の相談体制の充実

## 重点 4 社会教育推進のための基盤整備

重点項目	ア	観点	①	事業名	社会教育計画策定・評価事業				
事業の概要	<p>地域住民の多様な学習ニーズに応え、生涯学習社会の実現を目指すため、社会教育の方向性と具体的施策を体系的に整理・明示する。</p> <p>社会教育計画の実施状況を客観的に把握し、計画の実効性を高めるためのPDCAサイクルを確立する。</p>								
事業の目標	期間内		年次計画	8	9	10	11	12	
	令和13年度から17年度までの社会教育計画を計画的に策定する。								
評価指標	計画の作成								
重点項目	ア	観点	②	事業名	社会教育計画策定・評価事業				
事業の概要	<p>地域住民の多様な学習ニーズに応え、生涯学習社会の実現を目指すため、社会教育の方向性と具体的施策を体系的に整理・明示する。</p> <p>社会教育計画の実施状況を客観的に把握し、計画の実効性を高めるためのPDCAサイクルを確立する。</p>								
事業の目標	単年		年次計画	8	9	10	11	12	
	社会教育計画に基づき、事業が実施されているか年1回評価する。								
評価指標	評価回数								
重点項目	イ	観点	③	事業名	五戸町民大学講座				
事業の概要	新しい知識や教養を身につけ、受講者同士の交流を深め、生きがいのある生活を送ることを目的とする。								
事業の目標	単年		年次計画	8	9	10	11	12	
	五戸町にゆかりのある人材を関係事業所から情報を集め、講師として積極的に活用する。								
評価指標	活用回数								
重点項目	イ	観点	①	事業名	公民館利用満足度向上事業				
事業の概要	施設の利便性等について、利用者からご意見をいただくための提案箱等を設置して、施設機能向上を図る。								
事業の目標	期間内		年次計画	8	9	10	11	12	
	利用者からの提案を施設機能向上や運営に活かし、満足度を向上させる。								
評価指標	公民館改善箇所数								
重点項目	イ	観点	②	事業名	文化まつり事業				
事業の概要	町民が日ごろの学習活動や文化芸術の成果を発表・共有する場であり、相互に学び合い、地域のつながりを深めることを目的とする。								
事業の目標	単年		年次計画	8	9	10	11	12	
	参加団体を50団体確保し、参加者を500名程度確保する。								
評価指標	①参加団体数 ②参加人数								

## 重点 4 社会教育推進のための基盤整備

重点項目	イ	観点	③	事業名	五戸町民大学講座				
事業の概要	新しい知識や教養を身につけ、受講者同士の交流を深め、生きがいのある生活を送ることを目的とする。								
事業の目標	期間内	年次計画	8	9	10	11	12		
			○	○	○	○	○		
各講座実施後にアンケートを実施し、講座の内容満足度80%を確保する。									
評価指標	満足度								
重点項目	ウ	観点	①	事業名	社会教育研修会参加事業				
事業の概要	社会教育に携わる職員及び社会教育委員等関係者が、政策動向や実践的な知識・手法を取得し、地域課題への対応力の向上を図る。								
事業の目標	単年	年次計画	8	9	10	11	12		
			○	○	○	○	○		
研修会等への参加を奨励し、参加者延べ人数15名を確保する。									
評価指標	参加者延べ人数								
重点項目	ウ	観点	②	事業名	社会教育主事養成事業				
事業の概要	地域における社会教育・生涯学習を専門的に支援できる人材「社会教育主事」を養成し、教育の質の向上と持続可能な地域づくりの推進を図る。								
事業の目標	期間内	年次計画	8	9	10	11	12		
			←—————→						
受講条件を満たす職員を把握した上で、教育委員会に最低1名の有資格者を計画的に配置できるよう、講習会へ教育課職員1名を派遣する。									
評価指標	講習会派遣人数								
重点項目	ウ	観点	③	事業名	社会教育担当者会議参加事業				
事業の概要	市町村の社会教育担当職員が集まり、実践事例の交換や課題解決に向けた協議を行うことで、地域に根ざした社会教育の推進と職員の資質向上を図る。								
事業の目標	単年	年次計画	8	9	10	11	12		
			○	○	○	○	○		
年間で開催される会議に対し8割の参加を目標とする。									
評価指標	参加率								
重点項目	エ	観点	①	事業名	公民館啓発事業				
事業の概要	地域団体・関係機関との連携を深め、住民の学びや参加を促進する「情報発信拠点」としての機能を強化する。								
事業の目標	単年	年次計画	8	9	10	11	12		
			○	○	○	○	○		
行政機関や各団体等からイベント等の啓発依頼があった場合に、公民館内にポスターやチラシを設置し情報提供を図る。									
評価指標	ポスター・チラシ掲示件数								
重点項目	エ	観点	②	事業名	社会教育関係職員研修参加事業				
事業の概要	社会教育に携わる職員が業務遂行に係る基礎的・実務的な研修、地域課題の把握と課題解決につながる実践的な知識・技術の習得を目的とする。								
事業の目標	単年	年次計画	8	9	10	11	12		
			○	○	○	○	○		
地域課題に必要な研修に参加する。									
評価指標	参加者延べ人数								

## 重点5 地域スポーツの推進

五戸町では、町民のニーズに対応した多様なスポーツ情報や機会の提供、内容の充実した各種スポーツイベントの開催。また、スポーツ推進委員が中心となり、それぞれの専門性を生かしたスポーツの振興に努めています。さらに、町スポーツ協会や各種競技団体が連携し、スポーツ機会の拡充を図っています。

今後は、スポーツに携わる人づくりと活用、大会等を支援するボランティアの活用及び地域スポーツクラブの拡充に努め、町民があらゆる機会や場所において、生涯にわたってスポーツに親しむ環境づくりの充実を図ります。

### 重点項目 ア ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- ①若者のスポーツ活動の推進
- ②働き盛り、子育て世代のスポーツ活動の推進
- ③高齢者のスポーツ活動の推進

### イ 学校や地域における子どものスポーツ機会の充実

- ①幼児期からの子どもの体力向上方策の推進
- ②学校の体育活動の充実
- ③子どもを取り巻く地域のスポーツ環境の充実

### ウ 地域のスポーツ環境の整備・充実

- ①スポーツ活動推進のための体制づくり
- ②総合型地域スポーツクラブの育成・推進
- ③地域のスポーツ活動を支える人財の育成・活用
- ④地域スポーツ施設の有効活用・利用促進

### エ 競技スポーツの推進

- ①関係機関・スポーツ団体等との連携
- ②スポーツの科学の活用
- ③各競技の普及と競技人口の拡大
- ④選手の発掘・育成

### オ スポーツによる地域の活性化

- ①スポーツを通じた地域の活性化
- ②スポーツによる交流の推進
- ③スポーツ活動推進のための情報発信

## 重点5 地域スポーツの推進

重点項目	ア	観点	①	事業名	スポーツ大会の企画運営事業					
事業の概要	気軽に楽しめる生涯スポーツの大会開催を行う。									
事業の目標	単年	年次計画	8		9		10		11	
			○	○	○	○	○	○		
大会参加人数を増加させる。										
評価指標	参加人数									
重点項目	ア	観点	②	事業名	町立学校体育施設開放事業					
事業の概要	スポーツ活動の普及、文化活動の振興並びに子どもの安全な遊び場の確保のために、学校施設を開放する。									
事業の目標	単年	年次計画	8		9		10		11	
			○	○	○	○	○	○		
学校体育施設開放制度を周知し、スポーツ環境を提供する。										
評価指標	利用団体数									
重点項目	ア	観点	③	事業名	高齢者の運動機会促進事業					
事業の概要	高齢者の体操教室等を開催し、運動機会の促進を目指す。									
事業の目標	単年	年次計画	8		9		10		11	
			○	○	○	○	○	○		
音楽に合わせて簡単な体操、座ったままでのトレーニング運動など、多様なメニューで教室を開催し、尚且つ、周知方法を工夫し、参加者延べ人数の増加を目指す。										
評価指標	①教室開催数 ②参加者延べ人数									
重点項目	イ	観点	①	事業名	キッズスポーツ普及事業					
事業の概要	幼児期における運動・スポーツの体験できる場の提供を目指す。									
事業の目標	単年	年次計画	8		9		10		11	
			○	○	○	○	○	○		
町内の未就学児と低学年の児童に対する体操・スポーツ教室を実施する。										
評価指標	教室実施数									
重点項目	イ	観点	②	事業名	スポーツ大会出場祝金交付事業					
事業の概要	五戸町のスポーツ活動の普及・推進・振興を図ることを目的として大会出場祝金を支給する。									
事業の目標	単年	年次計画	8		9		10		11	
			○	○	○	○	○	○		
祝金制度の認知度を高めるため、広報や町HPで周知を図る。										
評価指標	掲載数									



## 重点5 地域スポーツの推進

重点項目	エ	観点	①	事業名	地元プロスポーツチーム連携事業				
事業の概要	ヴァンラーレ八戸や東北フリーブレイズ等との協働・交流イベントを実施し、地域コミュニティの形成や五戸の魅力について幅広く発信していく。								
事業の目標	単年	年次計画	8	9	10	11	12		
			○	○	○	○	○		
地元プロスポーツチームと協働・交流イベントを実施する。									
評価指標	イベント協力回数								
重点項目	エ	観点	②	事業名	スポーツクリニック事業				
事業の概要	スポーツ指導者や保護者などを対象に、育成年代における外傷や障害予防について学びを実践することで、怪我予防やパフォーマンス向上につなげることを目的とする。								
事業の目標	単年	年次計画	8	9	10	11	12		
			○	○	○	○	○		
選手の怪我予防やパフォーマンス向上のため、専門的知識を有した方を招聘し、研修会を実施する。									
評価指標	①開催数 ②参加人数								
重点項目	エ	観点	③④	事業名	スポーツクラブスクールコース事業				
事業の概要	スクールを通じて、スポーツの持つ魅力や楽しさを体験すること、スポーツを通じて将来の目標や生きがいを持つことにより国内外で活躍するアスリートや社会に貢献する人材育成を目指す。								
事業の目標	単年	年次計画	8	9	10	11	12		
			○	○	○	○	○		
スポーツクラブスクールコースの入会者(サッカー、野球、ソフトテニスなど)及び参加者数(かけっこ)の増加を図る。									
評価指標	①入会者数 ②参加者数 ③開催数								
重点項目	オ	観点	①②	事業名	町民運動会事業				
事業の概要	明るく健康で活力にあふれた地域づくりを目指すため、町民が一堂に集まり、スポーツやレクリエーションなどを通して町民の親睦や健康増進を図る。								
事業の目標	単年	年次計画	8	9	10	11	12		
			※	○	○	○	○		
プロジェクトチームで運営方法の見直しやプログラム内容を充実したものにし、運動会だけではなく出店等の充実も図りながら、600名程度の来場者数を確保する。									
評価指標	①プロジェクトチーム会議開催回数 ②参加人数								
重点項目	オ	観点	③	事業名	SNS発信事業				
事業の概要	SNSツールを使用し、町民に見える化した形でスポーツを身近に感じてもらう。								
事業の目標	単年	年次計画	8	9	10	11	12		
			○	○	○	○	○		
スポーツイベント等について、公式SNSで発信する。									
評価指標	発信件数								

## 重点 6 文化財の保存と活用

五戸町では、指定文化財の保存・修理及び文化財の調査や記録作成に努めています。また、伝統芸能・技術の保存や後継者育成の支援など無形文化財の継承事業を推進しています。

今後は、ごのへ郷土館を拠点に文化財に興味・関心をもち、親しめるよう、公開展示や公開説明会など文化財に関する学びの機会を拡充し、町民の文化財保護思想の普及・啓発を図り、文化財の保存・活用マネジメントの充実に努めます。

### 重点項目 ア 文化財の保護と保存の推進

- ①指定文化財の保存・修理と防災施設整備の充実
- ②文化財の調査や記録作成と町による文化財の指定
- ③文化財保護思想の普及・啓発

### イ 文化財の公開と活用

- ①埋蔵文化財の発掘調査・研究と適切な収蔵
- ②文化財についての情報発信と活用の促進
- ③史跡等の公有化と整備・充実

### ウ 伝統芸能・技術の継承

- ①伝統芸能・技術の保存及び後継者の育成
- ②伝統芸能の発表機会の拡充
- ③子どもの伝統芸能伝承活動の推進



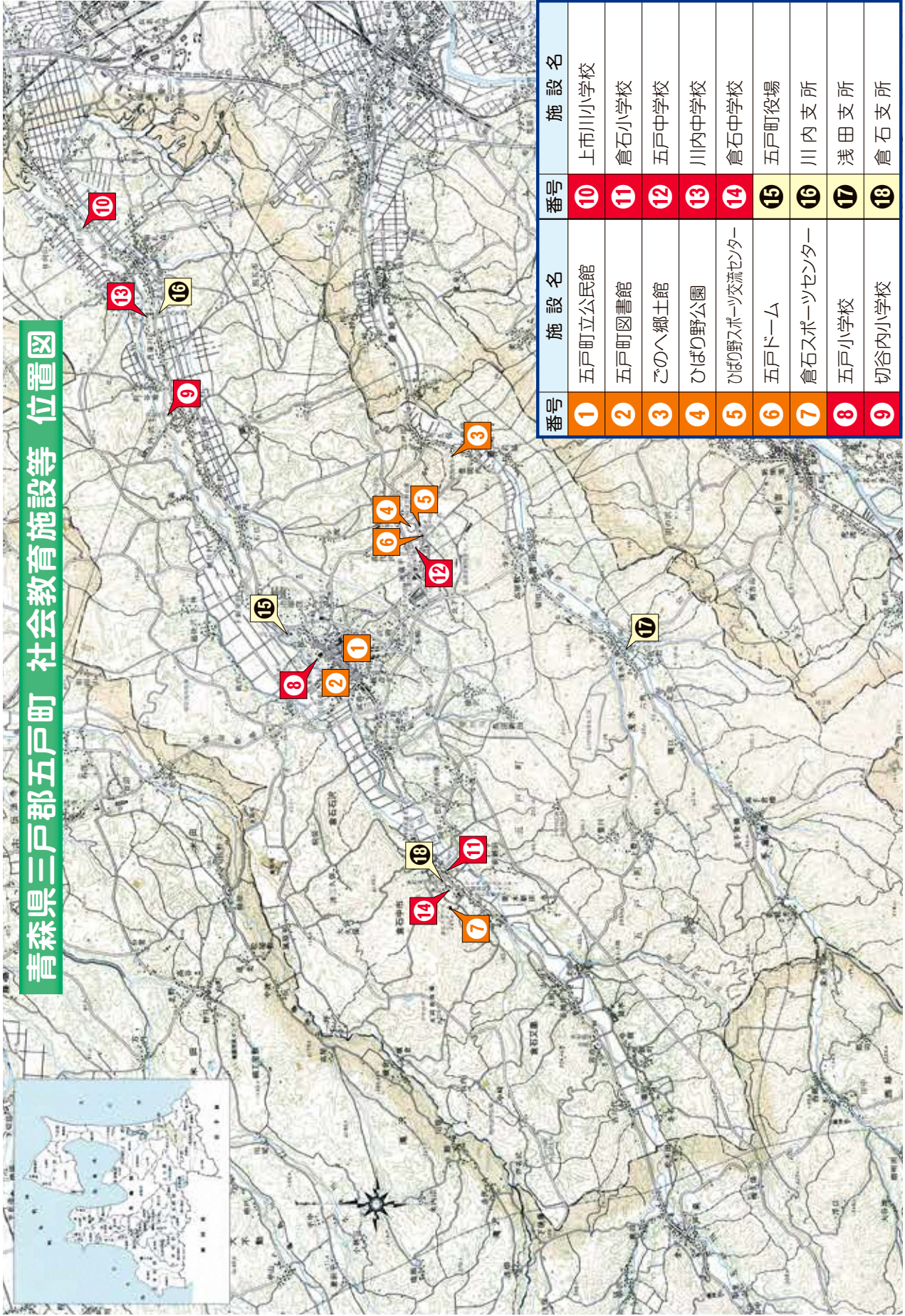
## 重点 6 文化財の保存と活用

重点項目	イ	観点	③	事業名	文化財パトロール事業				
事業の概要	埋蔵文化財包蔵地等 <sup>※8</sup> の現状確認を計画的に行う。								
事業の目標	単年	年次計画		8	9	10	11	12	
				○	○	○	○	○	
埋蔵文化財包蔵地等の現状確認を40件実施する。									
評価指標	パトロール件数								
重点項目	ウ	観点	①	事業名	伝統工芸継承活動事業				
事業の概要	伝統工芸の後継者育成のため、体験会等の実施支援を行う。								
事業の目標	単年	年次計画		8	9	10	11	12	
				○	○	○	○	○	
このへ郷土館で体験会を開催し、5団体程度の支援を行う。									
評価指標	支援団体数								
重点項目	ウ	観点	②	事業名	伝統芸能保存伝承活動事業				
事業の概要	伝統芸能や民俗芸能を次世代へ確実に継承することを目的に、記録・保存・後継者育成・普及啓発などの活動を支援する。								
事業の目標	単年	年次計画		8	9	10	11	12	
				○	○	○	○	○	
伝統芸能保存団体の発表機会を拡充させるため、県内外の伝統芸能発表大会等の情報提供を3件行う。									
評価指標	情報提供件数								
重点項目	ウ	観点	③	事業名	伝統芸能保存伝承活動事業				
事業の概要	伝統芸能や民俗芸能を次世代へ確実に継承することを目的に、記録・保存・後継者育成・普及啓発などの活動を支援する。								
事業の目標	単年	年次計画		8	9	10	11	12	
				○	○	○	○	○	
子どもへの伝統芸能継承を支援するため、継続的に児童生徒に伝統芸能継承活動をしている5団体へ支援を行う。									
評価指標	支援団体数								

※8 地中に文化財が埋まっている可能性が高い土地のこと。



# 青森県三戸郡五戸町 社会教育施設等 位置図



番号	施設名	番号	施設名
1	五戸町立公民館	10	上市川小学校
2	五戸町図書館	11	倉石小学校
3	このへ郷土館	12	五戸中学校
4	ひばり野公園	13	川内中学校
5	ひばり野スポーツ交流センター	14	倉石中学校
6	五戸ドーム	15	五戸町役場
7	倉石スポーツセンター	16	川内支所
8	五戸小学校	17	浅田支所
9	切谷内小学校	18	倉石支所



©東京ハイジ/五戸町

---

## 令和8年度～令和12年度 五戸町社会教育計画

発行年月日：令和8年3月31日

編集機関：五戸町教育委員会

印刷：株式会社秀栄社印刷

---